

北大経済学部 同窓会報

Hokkaido University
Faculty of Economics

第37号



発行者
北海道大学経済学部
同窓会

発行日 2021年9月1日

TEL & FAX (011)706-4113

Email dosokai@econ.hokudai.ac.jp



ごあいさつ

北大経済学部
同窓会会長
上野 昌 美
(昭和47年卒)



昨年来の新型コロナウイルスの感染症の下で、社会生活は一変しました。人々が直接会ってコミュニケーションする社会活動の基本的なパターンが、感染拡大のリスク要因となりました。教育はオンライン学習へ、働き方はリモート・ワークへと移行することになりました。人々が集合する催しは中止となり、北海道大学でも、昨年の入学式、卒業式、ホームカミングデーなどの行事がすべて中止あるいはオンライン開催となりました。

本会は、ここ数年ホームカミングデーの開催日に合わせて総会、懇親会を開催

してきました。昨年はホームカミングデーが中止になったため、文系4学部合同の懇親会も中止せざるをえませんでした。懇親会会場に直接集い、旧交を温めるのが、同窓会活動の重要な役割の一つだと考えていますので、残念なことでした。

今年に入ってから、感染症の拡大はやや低調となり、北大でも1年ぶりに入学式が開催され、教室での講義も再開されました。しかし、5月に入って感染が再拡大し、北海道(札幌)では、5月16日には緊急事態宣言が発出され、宣言が解除されたのは6月20日でした(21日から重点措置に移行)。このような感染の急拡大のもとで、経済学部では、5月中旬に講義が再びオンライン化されました。在校生の皆さんは、友人と交流する機会がなく、さぞ辛いのではないのでしょうか。

本会は、ここ数年は在校生支援活動に

注力してきました。感染症再拡大という状況のなかで、在校生の皆さんに6月23日から25日まで生活物資の支援を実施いたしました。平本経済学部長のご配慮と経済学部教職員の皆様のご協力のもと初めて実現できました。また、昨年度に在校生支援を実施されていた農学部同窓会からは貴重な情報を提供いただきました。厚く御礼申し上げます。

伊東孝前会長が本年3月に逝去されました。伊東前会長は、温厚なお人柄と実行力で本会の発展に尽力されました。会長職を退かれたのちも、顧問としてのご協力、ご支援をいただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

最後になりますが、会報にご寄稿、ご協賛をくださった皆様に御礼を申し上げます。そして、会員の皆様が、この長引くコロナ禍を乗り越えられますよう衷心より祈念いたします。



卷頭言

経済学研究院長
(学院長・学部長)

平 本 健 太
(昭和62年卒)

昨年、巻頭言を執筆していた頃は、慣れないオンライン講義の準備に追われ、また、日々刻々と変化する感染症の状況に漠然とした不安を感じながら過ごしていました。あれから1年が経過し、“with コロナ”がすっかり日常になってしまいました。

この原稿を執筆している時点で、東京都などに対する「緊急事態宣言」の発出が決定されました。宣言下にもかかわらず、東京五輪は開催される見通しです。「緊急事態」と「平和の祭典」という両極端な事象が同時に生起するという「希有な（いや、クレイジーな）体験」をすることになりそうです。

組織論の研究者らが著した『失敗の本質—日本軍の組織論的研究』という本があります（戸部・寺本・鎌田・杉之尾・村井・野中，1984）。太平洋戦争における日本軍の「失敗」について考察した秀作です。ベストセラーかつロングセラーなので、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。内容についてはぜひともお読みいただくとし、そこで記述・分析されている日本軍の「失敗」の構図が、70年をはるかに超えた今、場面は違えど、既視感のごとく蘇ろうとしている気がしてなりません。

さて、COVID-19の収束は、まだまだ見えてきません。明るい話題は少ないのですが、北海道大学では、7月半ばからワクチンの職域接種が開始されることになりました。学生や教職員の希望者を主たる対象として、約2万2千人に対してワクチンを接種するべく準備が進められています。巷間では、「ワクチンが切り札」という声も聞かれます。でも、真の決め手は「治療薬」であるとわたしは認識しています。ワクチン接種は、収束への一里塚に過ぎません。とはいえ、経済学部・経済学院の学生のみなさんをはじめとする大学関係者の一人でも多くが、夏休み中にワクチン接種を済ませることで、2学期以降は対面形式の授業をもっと増やすことができたと願っております。

もう1つの明るい話題は、昨年度から今年度にかけて、出身者の教員を採用できたことです。岡野泰樹准教授（2020年4月着任，会計監査論），深山誠也准教授（2021年4月着任，経営管理論），小杉雅俊准教授（2021年9月着任予定，管理会計論）のお三方です。経済学部・経済学院で学び，他大学に職を得て業績を上げた研究者を，プロフェッサーとして母校にお迎えできることは大きな喜びです。

去る6月23日から25日の3日間、経済学部同窓会のご厚意により、経済学部・経済学院の学生に対する支援物資の配布が行われました。食料や生活必需品など、たくさんの物資をご用意頂き、140名以上の学生がこの機会を利用させて頂きました。長引くコロナ禍の影響で、学生たちの経済状況は昨年以上に悪化しています。この意味で、時宜に合ったご支援を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

研究院長・学院長・学部長としてのわたしの任期（懲役期間）は今年度末までですが、同窓会の皆さまにおかれましては、ますますのご支援・ご協力を頂戴できれば幸甚でございます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



北海道大学の歴史とともに
北大生協は
歩み続けています

北大生協の3つの使命

- ①北大生協は「北大の勉学・教育・研究の発展に安心と信頼のサービス」で貢献します。
- ②北大生協は「学生・院生の自立・成長と学内構成員の協力・協同の促進」に寄与します。
- ③北大生協は「持続的発展可能な地域社会・国際社会の実現」に向けて力をつくします。

北海道大学生生活協同組合

札幌市北区北 8 条西 7 丁目

Mail : seikyou@coop.hokudai.ac.jp

北大生協ホームページ <https://www.hokudai.seikyone.jp/>

北大の近況 — 實金総長，異例の船出 —

北海道大学 理事・副学長 吉見 宏
(大学院経済学研究院 教授)

1. 新総長就任

北大にとって，令和2年度は激動の年でした。文部科学大臣により前総長が解任され，夏に異例の新総長選考開始，10月1日に第20代総長として，實金清博前北大病院長が就任しました。それとともに教員出身の役員も入れ替わり，私も10月1日から理事・副学長を拝命し，財務，広報，社会連携，コンプライアンス等を担当しております。経済学研究院のご配慮により，年度中にもかかわらず講義および学生指導担当のほとんどを外していただき，現在はほぼすべての時間を大学本部での執務に充てています。

2. 北大のビジョン

事実上，総長不在の期間は約1年半にわたりました。これは，北大に様々なダメージを与えました。何より，大学としての方向性，言い換えればビジョンを示すことができませんでした。この点で，實金総長は，『光』は『北』から『北』から『世界』へ」をキャッチコピーに，北大が目指すべき姿をまず示されています。

これをより具体化した例が，世界的な研究成果を目指す大学であるとともに，地域に根ざした大学であるべきであり，これまで比較的手薄であった地域連携にも力を入れる，ということです。早速，北大は北海道と包括連携協定を締結しました。

3. SDGsとESG

今や環境問題を含めたSDGsを念頭に置き，ESG経営を実践しなければ，どのような組織でも時代と社会に取り残されてしまいます。この点で北大は，「THE（タイムズ・ハイヤー・エデュケーション）大学インパクトランキング2021」において，世界で101-200位，国内では昨年に続き1位となりました。これは，特に環境課題に対応している大学として，高い評価を得ていることを意味しています。

實金総長は，北大は「比類なき大学」を目指すとしていますが，北大が受けている評価は，まさにSDGs時代の大学の先頭を行く特徴を有しているといえ，この財産をより活かしていかなければなりません。

4. 広報活動の活発化

北大は広報が弱いのでは，としばしば指摘を受けてきたところですが。上記のビジョンにしても，SDGsにしても，北大



道庁との包括協定締結の調印式 写真提供：北海道大学

が目指すところ，やってきたことを社会に理解していただき，還元することはたいへん重要です。そのために，総長との懇談会，定例記者会見など，広報活動を活発化させています。

まだまだ不十分ではありますが，北大のホームページとSNS（Facebook, Twitter, Instagram）では随時情報発信を行っております。同窓生の皆様には，こちらまごらんいただければ幸いです。

5. 財務面の強化

北大の財政状態は厳しさを増し，自力の経営資金の稼得が求められています。そのためのプロジェクトを検討する場も複数立ち上げています。しかし，これらが安定的に資金を稼ぎ出すには，かなりの時間が必要です。

その中で，大学がいただく寄付金はきわめて重要であり，これには同窓生の皆様のご支援が欠かせません。たとえば，コロナにより困窮する学生に対する金銭的，物的支援もフロンティア基金等を原資に行ってきました。また，農学部を中心に，学内にワイン研究施設を設置し，ワイナリーとワインカフェも併設する構想が進んでいますが，これにも農学部同窓会に寄せられた寄付金が寄与しています。

6. コロナ後に向けて

一刻も早いコロナ禍の終息に向けて，北大としてもできる限りの対応を行っております。終息後には，世界に認められた環境の北大キャンパスで，できればビアガーデンあるいはワインカフェにおいて，皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

札幌の家具付き賃貸ならノースステイ

North Stay

North Stay は，札幌でウィークリー・マンスリーマンションや家具家電付の賃貸マンションを運営しております。ご旅行や出張など，お客様のあらゆるシーンにあわせて，快適な居住空間をご提供させていただきます。

（ノースステイホームページ）
www.north-stay.com/

札幌市内トップクラスの情報量

札幌オフィス検索

札幌オフィス検索は，札幌の賃貸事務所・オフィスなどへ移転をお考えのお客様に最新の物件情報をご紹介します。ご紹介物件数・更新頻度ともに札幌エリアではトップクラスです。仲介手数料半額による格安なコストでの移転をサポートします。

（札幌オフィス検索ホームページ）
<http://of-sapporo.jp/>

賃貸生活

株式会社 賃貸生活

代表取締役 佐藤 有

こちらのフリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください

【ノースステイ受付窓口】 【札幌オフィス検索窓口】

フリーダイヤル
☎ 0120-277-271 011-206-8996

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西9丁目1-2 サンケン札幌ビル2F
TEL 011-206-8996 / FAX 011-206-8127

□ 賃貸生活のホームページ
www.on-1.net

4 Hokkaido University Faculty of Economics

とうございました。

- 今回の支援、とてもありがたかったです。ありがとうございました。
- 今回の物資支援は大変助かりました。定期的にあるとありがたいと思います。
- 今回はこのような支援をしていただき本当にありがとうございました。本当に助かりました。
- 今回は物資の支援をしていただきましてありがとうございます。大変助かりました。もし今後も同様の支援をしていただける場合、2回に分けて配布していただけますと助かります。ありがたいことではあるのですが、この回頂いた物資が重たく嵩張るものでしたので、一気に自宅に持ち帰るのが大変でした。ご検討いただけますと幸いです。
- 今回は物資支援本当にありがとうございました。食べ物や洗剤、学生にとってはとても助けになります。感謝致します。
- 今回開催してくださった（同窓会）さま、はじめご協力頂いたみなさま、本当にありがとうございました。
- 大量にありがとうございました、大切に使用させていただきます。
- 朝食を100円で食べたいです。
- 同窓会の普段の活動を知りませんでした。今回のような支援があると同窓会を身近に感じられて良いと思います。

した。

- 年二回の支援を希望しましたが、トイレットペーパーは半年で使いきれないぐらいの量をいただいたので、これに関しては自由に持ち帰れるものに設定しても良いかと思われま。
- 非常に嬉しい。賞味期限が一部長いものがあるのは嬉しいがあまり期限は関係なく普通のパンでも良いと思った。
- 物資支援とてもありがたかったです。次回も利用させていただきたいです。

以上です。

同窓会の学生支援に対して要望が多かったのは「就職支援」でした。内容はOB、OGを紹介してほしい、訪問したい。就活サポート、相談。など多岐に及びました。

同窓会ではこれらの要望を踏まえて、よりミスマッチのない就活支援をどのような形でしていくか、検討を重ねていきたいと考えています。ぜひOB、OGの忌憚のないご意見、企画などをお待ちしております。後輩たちのために何が有効で、そしてできることなのかさまざまご意見をお待ちしております。また、学業と就活双方に役立つ卒業生による「出前講義」のような支援のかたちにもトライしていきたいと考えております。

何卒同窓生のみなさま、今後の学生支援のためにも是非協賛金にご協力をお願いいたします。

前北海道大学
経済学部同窓会長

伊東 孝さんを偲ぶ

伊藤幸彦前北海道大学経済学部同窓会副会長より追悼文が寄せられましたのでここに掲載いたします。



故 前北海道大学経済学部同窓会長 伊東孝さんのご逝去を悼みここに謹んでお悔みの文を記します。

昨年の年賀状では奥様の字で「孝は正月は病院で迎えます」とありましたが、今年には「孝は米寿を迎えそれ相応に足が弱ってきました」とありましたので、今年は病院でなく自宅で正月を迎えることが出来ることは元気になられたのだらう

と勝手に思っていた矢先でした。突然の訃報にはただただ驚きました。伊東さんとの付き合いは、昭和30年の北大同期入学以来ですのだからこれ65年以上となります。

伊東さんは、旧制岩見沢中学校（現岩見沢東高校）卒業ですが、病気のせいで遅れて私たちと同じ入学になってしまったので、歳は少々上でした。体があまり丈夫ではなかったこともあったのか、恵迪寮など寮で過ごす時間が多かったようで学内ではあまり一緒にいませんでした。しかし私達否私は青春を謳歌しすぎて日夜遊び惚けていたのに伊東さんは勉学に励んでいました。在学中に公認会計士の資格を取り卒業後は、会計士の仕事をしながら司法試験に合格し弁護士になられています。並大抵でない研鑽努力をされていたと思います。本当に尊敬に値します。

今では本学部卒業の公認会計士、弁護士は多数おられますが、会計士と弁護士の両方の資格を有するのは伊東さんが初めてだと思います。同窓生、同期生として大変誇りに思って

います。

2001年長らく経済学部同窓会会長を引き受けてくださった我孫子健一さん（29年卒）が辞められることになりました。後任選任は難航しましたが、34年卒を中心に選ぶことになり伊東さんに白羽の矢がたちました。会計士、弁護士、北大本部の監事、その他もろもろの公職を担っている超多忙な身でありながら、北大経済学部同窓会に少しでも恩返しが出来たのならと6年間会長職を引き受けられました。

当時から同窓会活動の活性化を図ることは大きな課題でした。それに同窓会の財政は大変逼迫しておりあと数年で赤字になる様相を呈していました。伊東会長は、まず事務費の大幅な削減を実施し、ついで同窓会基金増として既卒業生に対し会社や職域その他を活用して終身会費納入を勧誘しました。新卒業生には卒業式当日に同窓会の女性役員を中心に会費納入の勧誘を行い、成果は徐々に表れ財政は何とか持ちこたえてきたようです。さらに、同窓会活動の活性化として同窓会報の充実、同窓会名簿の5年ごとの更新、優秀卒業論文にたいし同窓会長賞（副賞付き）の授与などを実施しました。在学生には進路相談などのため同窓会事務室の常時開放を行いました。

伊東会長は以上のことなどを、陣頭指揮され同窓会の発展のために大変尽力されました。

ここに心からの感謝の意を込めてお悔みの言葉といたします。一緒に北大経済学部同窓会活動に携わった友として。

前北海道大学経済学部同窓会副会長 伊藤幸彦

コロナ禍のゼミは今

今井ゼミ

今井晋先生のプロフィールとゼミ紹介

私は1998年に博士号を取得し、それからあちこちの大学を転々として、2017年に北海道大学経済学研究院に赴任しました。書類上の専門は労働経済学、産業組織論ですが、実際には研究室に引きこもって延々とデータの整理、長大なプログラムのデバッグ等の作業を行っています。私の得意分野は長時間労働と、プログラムが想定通りに動かないときの激しいストレスに耐えることです(笑)。

ゼミでは、毎週ゼミ参加者の方々にトピックを選んでいただき、その中で私がいくつか論文を指定し、その中の一つを発表していただいています。私も一参加者として、私の順番になった時、または事情があって発表者がいない場合、論文を選んで発表します。

読んだ論文のトピックは、例を上げますと、ギャングの組

織と犯罪、アフリカの奴隷制の歴史と経済停滞、貧困、都市計画、野球における薬物使用の普及プロセス、インドのカーブ制、行動経済学、ソニーとVHSのビデオデッキ競争、会社不正の摘発、ビールのブランドと味わい等、経済学、経営学、会計、そして経済史等幅広い分野にわたって勉強しています。

3年、4年生の学生の皆様のまいてみると、驚異的な勢いで知識を身につけられていくことがひしひしと感じられます。そのような急速な知的成長過程にできるだけ自然に身を任せ、多少の成長の速さの差はあまり気にしないようにしていただくことが、学生の皆様をお願いしたいことです。そのような成長に必要な知的養分を十分に与え、静かに見守ることが、どちらかというと衰退していく老教員の最も大きな喜びです。

ゼミ生インタビュー

4年 今野 貴大

今井ゼミに入ろうと思ったのは、留学にいききたいと元々考えていて、留学に理解のあるゼミがまず一番でした。そしてゼミの時間が少し短めなのも魅力でした(笑)。結局このコロナ禍で留学にもいけなかったのですが...

ゼミについてですが、自分は2年生の時対面でゼミ選択をやれたので、いろいろ直接見聞きする機会が得られて、まだよかったと思います。ただ今は、Zoomに入ってゼミを受けて、とそのZoomの中だけの繋がりのように感じる時があります。プライベートでの繋がりがあまりなく、その辺のさびしさはほんとうにあります。

就活はほとんどオンラインでした。就職はアサヒビール(株)に決まりました。今後は今しかできないこと、やり残したこと等、コロナの今だからできることもたくさんあると思うので、悔いのないように過ごしていきたいと思っています。

3年 石井 稜真

2年になってゼミ選びの時に考えたのは、2年の早い段階だったので、よく経済のことがわからないままゼミを選ぶことに不安がありました。そのような中で今井ゼミはひろく経済学をあつかう、ということでミスマッチが少ないかなと思いました。今、ゼミ生は14人ですがそれぞれが自分の好きな分野の報告をするので、いろいろな研究、意見があるのだと新たな気づきもあります。

自分は専門分野に入ってから(2年次)はすべてオンラインなので、授業も部活もそれまでとは違ったものになりました。部活は特に休みも多くなり、軌道をやっているのですが、練習中もマスクですすし、大会も中止になってしまい本当に残念です。

就活については、今のうちにできることとして、企業セミナーなどにいろいろオンラインで参加しています。オンラインなので参加しやすい面もあります。今は将来に備えて、という感じでしょうか。

最後に同窓会への要望などをお二人に伺ってみました

石井さんは今回同窓会が行った学生支援に参加し物資を受け取ったとのこと。いろいろあって大変助かりました、とのことでした。

そしてお二人から共通の要望として上がったのが卒業生による「就職支援」でした。今野さんがお話しになっていましたが、OBやOGの話を聞く機会があったが、会社にアクセスしてから話で、もしその前段階で先輩たちいろいろな生の声を聞く機会があれば大変助かる、とのことでした。事務局担当も以前卒業生の方から就職などの相談を、もっとぐいぐい来てほしいですよ、北大生はおとなしくて、ということをおっしゃったことがありました。この在校生と卒業生のミスマッチをどううまくつなげていくか、が今後の同窓会としての課題だと考えました。



岡野ゼミ

2012年3月に明治大学を卒業後、会計学・監査論の研究者を目指し、同年4月に北大経済学研究科（当時）の会計専門職大学院に進学、そのまま博士後期課程に進み、2017年3月に学位を取得しました。その後、北大での1年間の専門研究員と他大学での2年間の教員経験を経て、2020年4月に、監査論の担当教員として北大に戻りました。

私のゼミは、2021年4月からスタートする予定でしたが、院生時代の指導教員でもある、吉見宏先生が北大の理事・副学長に就任された関係で、急遽、先生のゼミ生を引き継ぎ、2020年の10月から岡野ゼミがスタートしました。というわけで、私とゼミ生（4年生）は、岡野ゼミとして見ると1期生、吉見ゼミとして見ると後輩という、不思議な関係にあります。ゼミでは、私の専門である会計学・監査論分野のテキストを、

岡野泰樹先生のプロフィールとゼミ紹介

学生たちの興味関心を踏まえて選択し、輪読・議論しています。今年度は、公務員志望の学生が多かったこともあり、地方自治体における会計・監査の問題を扱ったテキストにしました。輪読という作業は、時間がかかる地味で地道な作業です。テキストの内容自体が直接すぐに役に立つ、という場面もおそらくそれほど多くはないと思います。学生からすると、非効率な作業をしていると感じられることもあるでしょう。しかし、輪読・議論をしていく中で「他者の言葉をよく聴く力」「正確に理解する力」、そしてそれを踏まえて自分なりの考えを持ち「伝達する力」が培われていきます。長期的に見て、良い人生を歩むための基盤を学生達に提供してくれるものと信じています。何年後になるかわかりませんが、学生達がこのことを実感してくれる時がくるよう、私も毎週のゼミに臨みたいと思います。

ゼミ生インタビュー

4年 滝澤 奏奈

3年になって吉見ゼミに入ったのですが、秋になって急に吉見先生から「理事（副学長）になったので、今後岡野先生がゼミを引き継ぎます」と突然宣言？されて、そうになりました。

岡野ゼミでは半年ごとにゼミ生がこんなことを勉強したいよね、こういうことに重点を置きたいよねと話し合い、輪読する本を決めて、みんなで勉強します。

コロナ禍になって感じることは、よい面と悪い面があると思います。よい面は情報アクセスがよくなったことです。すぐにわからないことを調べることが可能になったりして、その点はよかったです。ただ自宅から授業を受けているので、オンとオフの切り替えが難しく、なかなか慣れないこともありました。

就活は公務員試験と並行しているという状況です。吉見ゼミも岡野ゼミも幅広い視野を提供してくれるゼミだったので、いろいろな可能性があると考えています。

3年 塚田 穰太

岡野ゼミを選んだきっかけは、その頃、東芝の不正会計のことが話題になっていて、会計を勉強してみたいなと思っていました。ちょうど部活（競技ダンス部）の先輩に岡野ゼミの方がいて、受けてみようかなという気持ちになりました。やはり身近なところで勧めてくれる方がいるのは大きかったです。

ゼミは隔週で対面もしているので、自分はやはり対面がよいです。人と人との関わりという点で考えると、会うことで、お互いにわかり合えることも多いです。今またオンラインなので、就活のことなどいろいろ聞きたいことがあるのですが...、という感じです。

就活は営業のようなバリバリいって、お金もたくさん稼げる職業をと思っています(笑)。体育会系ですね。すでにインターンにも参加しています。可能ならば不動産や保険業につきたいと考えています。

最後に同窓会への要望などをお二人に伺ってみました

滝澤さんからは、生活物資支援も助かりますし、とても大事なことだと思います。ただやはり就活支援を望みたいです、とのことでした。同窓生という視点から未来についてなどさまざまな可能性のお話など、なかなか自分で設定することができない会話の場などを設けていただいて、率直にいろいろなことをうかがってみたいと思います、とのこと。塚田さんからは就活の折にOB、OGの人たちの話をたくさん聞きたいです、と語ってくださいました。特に道外に就職する人間にとって北海道以外の就職先の方々の話を聞く機会が少ないので、ぜひいろいろな場を設けていただいて聞きたいことがたくさんあります、とのこと。



同窓生のみなさま、ぜひいろいろな就活支援のご意見ご要望を同窓会までお寄せください。

先日の日経新聞にも北大生の企業イメージは総合ランクで堂々の一位となっています。学生たちの就職状況はコロナ禍にもかかわらず非常に好成績を維持しています。かれらの奮闘努力のたまものですが、ぜひそこに「同窓生の力」で未来への展望を語り、そして就活へのバックアップをお願いいたします。

懐かしの西部ゼミ

全体編集世話人 吉井 哲（平成13年卒）

年金の心配をするくらいなら宇宙の事を考えろ！



西部忠先生

女優の安達祐実さんが「同情するならカネをくれ」と凄んでいた1994年、西部忠先生は北海道大学に赴任された。ゼミ第一期生は7名であり、以降、2017年3月に最後のゼミ生を送り出し、専修大学に転出されるまでに教えを乞うたゼミ生は約130名にのぼる。

東京大学大学院経済学研究科において経済原則と近代経済学、両方のゼミに参加していた西部先生は、マル経、近経の枠組みに捉われることなく、既存の経済学を乗り越えることを志向する研究者であり、市場像のヴィジョンからはじまり、複雑系・進化経済学、共同体・貨幣研究へと研究対象を広げてきた。また、経済社会においては「人々の結びつき」や「協同」が重要であるとの認識が、先生の思想の根底に敷かれているようである。

筆者もご指導のおかげで同様の職に就いているので実感

するところであるが、大学教員は学生に対してしばしば「ラディカルに考えろ」と指導する一方で、自身は学問上の制約に苦しんでいるものである。先生ほどラディカルで、やりたいことをやっている学者は本当に珍しい。そして、その教え方は非権威主義的で、ゼミでは皆が自由に侃々諤々議論を交わした。時にはゼミ終わりにジンパや居酒屋、あるいは先生のご自宅で、哲学、文学、恋愛、人生、宇宙と様々な話題で盛り上がった。お酒と西部先生は相即不離なのだ。

そのような先生の卒業生達もメーカー、新聞記者、会計士、社長業などの経済界、あるいは公務員など、やりたい事をやっているメンバーばかりであるが、とりわけ大学院に進学した者が多いことが西部ゼミの特徴であろう。大学院生は約20名、そのうち先生を主査とした博士号取得者は9名にものぼる。大学院修了生の研究テーマも多様であり、先生の学問的知識がいかに多岐にわたっているかを窺い知ることができる。

転出された今も数年に一度は集まり、お互いの近況を語り合う事ができる楽しい先生である一方で、いつまでも弟子達の学会報告を真剣な顔で聞く厳しい先生であることを願っている。（文責：吉井哲）

西部ゼミ同窓会

東京や北海道にて定期的に同窓会を開催し、20名前後が出席している。第1期生をはじめとして幅広い年代が全国各地から集結し、学生時代と変わらない様子で豪快に飲むのが恒例である。ご興味のある方はご連絡頂ければ幸いに存じます。（編集担当：宮崎義久 平成24年大学院修了） 連絡先：西部ゼミ同窓会事務局 吉井哲（第5期） satoshi.yoshii@gmail.com



賞状贈呈



記念品のグラスで乾杯

西部先生より近況報告

ゼミの学生とは、毎年行った合宿で時にハメを外すぐらい痛飲しながら学問や人生を語り合えたのがいい思い出です。

2017年に専修大経済学部に移籍、23年ぶりに東京圏に戻って、翌年「一般社団法人専修大学デジタルコミュニティ通貨コンソーシアム」、通称「グッドマネーラボ」(<http://goodmoneylab.org/>) を設立しました。いまコロナ禍での現金回避の傾向からスマホ決済等のキャッシュレス化が急速に普及し、仮想通貨やデジタル地域通貨等の多様な民間通貨が拡大しています。地球環境を保全し、地域経済やコミュニティを活性

化し、私たちの「生活の質」を高めてくれるようなグッドマネー（良貨）を産学官民共同で研究・開発するのが当ラボの目的です（詳しくは近著『脱国家通貨の時代』（秀和システム、2021）をご覧ください）。

2019年9月にグッドマネーラボが事務局、進化経済学会（当時会長）が共催団体になって高山市で開催した貨幣革新・地域通貨国際会議（RAMICS2019：<https://sites.google.com/view/ramics-2019-takayama/>）が日本政府観光局の2020年度国際会議開催貢献賞を受賞しました。（専修大学経済学部教授西部忠） ※御多忙のところ、原稿ありがとうございます！！（編集担当：阿部可奈子 平成20年卒）

西部ゼミOB・OGの活躍

先生、兄貴、そして恩師

尾矢能健(平成9年卒:株式会社SMBC信託銀行)



1996年、学部移行手続きの中ゼミ選択で訪れた経済学部の窓口、今年から始まるゼミがありますとの紹介を受け訪問したのが西部ゼミ。第1期生と名乗るのもおこがましい7名が、まだまだ若かりし頃の西部先生のもとに集った。

今思えば当時助教授であった先生と私たちの奇妙な関係。ちょっとだけ年上の兄貴(先生)と色々な意味でベクトルがバラバラな弟たち(ゼミ生)が手探りでゼミを

スタート。覚えていることは、ゼミ授業についていけない我々にいつも苛立ちを我慢していた先生とゼミ後の呑み会ではそんな我々に熱く語りそして一緒になって楽しむ先生、授業中と打って変わって賑やかで口数の多い我々1期生。ノコミュニケーションを身に付けた。

卒業後24年。銀行へ就職し現在はマネジメント業務に携わるなか、折にふれ先生とのコミュニケーションはいまだ現役である。今年節目の西部先生やOB・OGのみんなとまたジンパができるような環境になることを願っています。

ゼミで出会った「地域通貨」

吉田昌幸(平成20年大学院修了:上越教育大学准教授)

西部先生のゼミに参加したのは、1999年の学部3年生の時からでした。私の時にはゼミが2年生の後期からあって、私のゼミは経済思想史の橋本努先生のゼミでした。3年生の時に貨幣論に興味を持って書いたエッセイを西部先生のところに持って行った際に、今度ゼミで吉沢英成の『貨幣と象徴』を読むのでオブザーバーとして参加するかどうかを聞かれ、参加したのが西部ゼミの最初です。その後、大学院に進学後、西部先生に指導教官になっていただき博士号を取得し、今に至っています。

現在の私の研究の柱の一つにデジタル地域通貨があります。この研究も大学院の時に西部先生とともに苫前町での地域通貨実証実験に関わったことに契機があります。そこでは、地域通貨のことだけでなく、地域での調査の方法や地域との関わり方



集合写真

など多くのことを学びました。西部先生は基本的には自由放任で、各ゼミ生の個性を尊重していたと思います。私はその環境の中で伸び伸びと研究させてもらったことに感謝しています。

20年ぶりの資本論

高橋美帆(旧姓・長澤)(平成15年卒:水泳インストラクター)

高橋元氣(平成15年卒:株式会社日本経済新聞社)

我が家の中二の長男は本が好きだ。もちろんゲームやテレビも好きだけれど、本が好きなことだけはちょっと誇らしい。その長男の本棚には漫画や小説に混じって、ときどき変な本が並んでいる。

この前、図書館のラベルが貼ってある古めかしい本のタイトルに驚いた。『資本論』だった。「どうしたの？」と聞いたら、「書店で話題の本として紹介されていたから、借りてきた」のだという。こんな親バカめいた(そうでもないかもしれないが……)話を紹介するのは、タイトルの3文字を見た瞬間、西部先生や先輩たちの顔が浮かんできたからだ。週に何度か集まって討論し、互いの思想をぶつけ合った。先生の人柄とパワーに引っ張られ、合宿では夜通し、お酒と共に語り合った。

その西部ゼミで夫と知り合い、長男が『資本論』を手を取っている。約20年が過ぎたけれど、一冊の本を通してあの濃密な時間が流れ出す。ゼミに与えてもらった縁に感謝したい。



高橋夫妻

議論する姿勢

小田晃一郎(平成21年卒:在ミャンマー日本国大使館)

西部先生との思い出としては、当時バンド活動に傾倒し、あまり勉強熱心ではなく?卒業後の進路に迷っていた私に対して理解を示していただき、優しく相談に乗っていただいたことが強く印象に残っています。また、ゼミのメンバーで八剣山に登ったことも良い思い出です。今ではすっかり方向転換して公務員となり、現在はミャンマーの日本大使館で勤務しています。

在ミャンマー大使館では、総務省からの出向アタッシュとして主に通信・放送・郵便分野におけるODAや日本企業支援を担当しています。相手国側のニーズを正確・迅速に捉え、我が国から提供できるノウハウ・技術に関係者と検討し、ミャンマーの発展に貢献していくという仕事に非常にやりがいを感じています。現在の仕事では、課題に対してどのような解決手段を取っていくのかといった議論を行う場面が多くありますが、このような時に西部ゼミで培った議論する姿勢が活かされていると感じています。

受賞の喜びと 感謝の思い

苅部 桃奈
(令和3年卒)



卒業論文執筆を終えて得た経験と学び

この度は、北海道大学経済学部特選論文同窓会長賞を頂いたことに、心より感謝しております。このような栄誉ある賞を頂いたことを大変嬉しく、光栄に思っております。本論文を評価頂いた選考委員会の方々をはじめ、関係者の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回受賞いたしました論文は、「消費者のイノベーション採用行動に影響する諸要因—QRコード決済システムに関する定量的実証分析—」のタイトルにて、大学での研究成果を文章にまとめたものです。以下、この論文の概要ならびに論文執筆に関わる研究作業を通して得た経験についてご紹介させていただきます。

本研究の目的は、消費者におけるイノベーションの採用行動に焦点を当て、それに影響を及ぼす要因を明らかにすることです。イノベーションの採用行動に関する既存研究の多くは、「どのような要因がイノベーションの採用率を高めるのか」という問いを出発点として、消費者の採用動機や採用の促進要因の解明に焦点を当ててきました。しかしながらイノベーションの採用を妨げる消費者の抵抗は、同じように注目されてきませんでした。そこで本研究では、消費者の個人属性やイノベーション特性に焦点を当てて、イノベーションの採用に対する消費者の抵抗に影響する要因を明らかにしました。

本研究は、日本国内におけるQRコード決済システムの普及に着目し、このシステムの利用者である消費者のイノベーション採用行動を調査しました。研究の背景として、2018年以降、日本国内におけるキャッシュレス決済の利用者数が増加し続けているという現状があります。なかでもQRコード決済システムは、キャッシュレス決済手段のなかでも新しい非接触決済の技術であり、幅広い年齢層の消費者が利用できます。このような特徴から、2020年に始まった新型コロナウイルス流行を追い風として利用者が増加しました。

本研究はQRコード決済システムの利用者のなかでも、普及率の比較的高い大学生、大学院生を分析の対象としました。

質問票調査を実施した結果、次の点が明らかとなりました。第1にQRコード決済システムの採用者と非採用者に共通して、被験者の革新性が高まるほど、革新の受容を妨げる伝統障壁が低くなるという因果関係が発見されました。第2に革新性の高さはQRコード決済システム採用を最終的に決定づける要因ではないことが発見されました。言い換えるならば、革新性の高いということのみで、消費者がQRコード決済システムを同じように採用するとは限らないということです。これは、革新的な消費者グループの中に、イノベーションの採用行動について異質性の存在する可能性を意味します。

以上の分析結果を踏まえて、本研究は2つの含意を提示しました。理論的含意として、消費者のイノベーション採用行動研究に対するRCAモデルを一般化できる可能性、調査対象の個人属性による影響を考慮したモデル構築の重要性を提示しました。実践的含意として、標的とする消費者ではなく、消費者の帰属する集団に対してイノベーションの採用率を高めることを目的とした間接的なマーケティングの有効性を提示しました。

次に、研究作業を通して得た経験についてご紹介します。卒業研究を通じて、データを分析、解釈するための基礎力が身についたと自覚しております。本研究では統計分析ソフトRを利用して分析を行いました。プログラミング初心者である私は、この研究においてR言語を使用したスクリプトの書き方を初歩から学びました。現代社会において膨大なデータを分析し、意思決定に生かすことが求められております。また企業に働くビジネス・パーソンに対しては、データを活用するスキルの習得が期待されていると感じております。試行錯誤しながらデータ分析の基礎に触れ、本研究を論文にまとめあげることができたこと、さらに同窓会長賞という形で評価して頂けたことは、これからビジネス・パーソンとして生きる私の中に盤石な自信を築きました。

卒業論文の執筆にあたっては、多くの方々にお世話になりました。まず、学部演習の指導教員である坂川裕司教授には、研究の進め方から論理的な文章の書き方に至るまで、非常によくのご指導を賜りました。次に同じゼミの皆さんからは、研究進捗報告の際に数々の質問やアドバイスをいただき、本研究の問題点を浮き彫りにし解決するための機会を与えていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。最後になりますが、北大経済学部という道筋をつけてくださったすべての同窓生の皆様に、卒業生を代表いたしまして深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



同窓会サポート企業

SALAT 株式会社 サラト

■本社

兵庫県姫路市北条宮の町172
〒670-0948
Tel.079-284-1380

■東京支社

東京都台東区台東4-18-7 シモジンビル5F
〒110-0016
Tel.03-3832-6381



<http://www.salat.co.jp>

就職状況

- 昨年度の卒業生はコロナ禍の真っ最中に、まさに手探りで就活を模索し、オンライン中心の就職戦線を駆け抜けるという異例な時代を経験した世代となりました。彼らの大変さ、困惑を思うとみなさまに本当に「おめでとう」と声をかけたくります。
- 同窓会も今後よりいっそう在学生の就職支援のあり方を模索していきたいと考えます。卒業生のみなさまにおかれましても、さまざまな場で在校生に会われましたら、気さくに声がけし、相談にのっていただけたらと思います。北大生は東京や大阪などの学生たちに比べて少し「シャイ」なところがありますが、ぜひその持っている「力」を引き出せるよう、ご支援をお願いいたします。
- そのような中でも、就職状況は非常によいようです。就職率(就職希望者が分母)は学部が91.9%、修士が73.9%、会計大学院が80%、博士が100%となっています。(進学率は学部7%、修士11%)

学部

【8名】 北海道電力

【4名】 富士通、ニトリ、楽天、札幌市

【3名】 農林中金、三井住友海上火災

【2名】 日本生命、東京海上日動火災、第一生命、大和証券、村田製作所、ニチレイロジグループ本社、YKKAP、竹中工務店、JR北海道、凸版印刷、三菱地所、NTTドコモ、NTTデータ、北海道庁

【1名】 北洋銀行、日本銀行、国際協力銀行、日本政策金融公庫、りそなフィナンシャルグループ、渡島信用金庫、SMBC日興証券、岡崎信用金庫、住友生命、明治安田生命、オリックス生命、パナソニック、キャノン、旭化成、トヨタ、スズキ、いすゞ自動車、日立製作所、北海道味の素、三菱食品、ウェルファームフーズ、日本製鉄、日鉄エンジニアリング、川崎重工業、三井金属鉱業、住友電気工業、JX金属、大林組、東洋建設、長谷川産業、長瀬産業、SKホーム、ナガワ、JTB、NTT東日本、PwCコンサルティング、ユニバース、ビジョン・コンサルティング、東京センチュリー、住友商事、商船三井、伊藤忠エネクス、ホクレン商事、日本総合研究所、ホープス、ニプロ、INCLUSIVE、デジック、LAWSON、中部電力、小田急電鉄、甲信越福山通運、SHIFT、ワールドインテック、博報堂DYメディアパートナーズ、住友倉庫、サ

ンクレエ、大塚商会、ベネッセスタイルケア、アビームコンサルティング、ミリアルリゾートホテルズ、トッパンフォームズ、吉岡経営センター、日鉄ソリューションズ、JA全農、札幌商工会議所、北海道農政事務所、オフォーモア、TIS、Loop、ジップ、ツナグ・ソリューションズ、アベベネクスト、日本デジタルデザイン、オンデーズ、セブテーニ・ホールディングス、SOC、あしたのチーム、GSI、南遠工芸、ブリヂストンソフトウェア、堀江会計事務所、ネクストビート、東京海上日動システムズ、共同通信社、スカパーJSAT、日本通信サポート、北海道じゃらん、ネオキャリア、ドン・キホーテ、ユニクロ、スターティア、厚生労働省北海道労働局、国土交通省北海道運輸局、都市再生機構、函館税関、気象庁、山形県庁、富山県庁、白糠町

修士

【2名】 監査法人トーマツ

【1名】 新生銀行、交通銀行、中国平安銀行、China Construction Bank、富士通、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社、あずさ監査法人、PwCコンサルティング、赤坂有限責任監査法人、中国天職国際会計事務所、Unimedia Solutions、日本オラクル、北海道建設新聞社、エンシュウ、ハイシシングジャパン、Neusoft Japan、三菱UFJトラストシステム、兆峰国際、中国波司登、センコー、Sansan、日本テラデータ、無印良品(上海)、アークス、沖縄県庁

博士

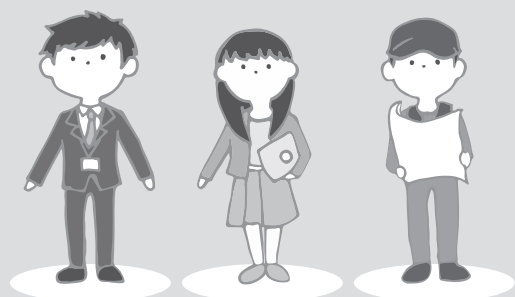
青森大学総合経営学部、神戸赤十字病院、(株)東急総合研究所

恩師の異動

令和2年度

- ・令和2年8月金融庁からいらしていた実務家の先生が5年の任期を終え戻られました。
教授 佐々木 潔→証券取引等監視委員会事務局
- ・永年、経済学研究院(経済学研究科)・経済学部の教育や研究に尽力された先生方が当大学を去られました。
教授 板谷 淳一(退職)→北星学園大学経済学部 特任教授
教授 佐々木 憲介(退職)→北海道大学 非常勤講師等
- ・13年間当学部、会計大学院、研究院でたくさんの学生を指導してこられた先生が異動されました。
准教授 篠田 朝也→岐阜大学社会システム経営学環 教授
各先生方のいっそうのご活躍とご健勝を心からお祈りいたします。

伝える。



私たち須田製版は
企画・デザイン・印刷
という手段だけではなく
WEB・映像・イベント・
マーケティングなど、
多様な手段で
お客さまの“伝える”を
お手伝いしています。

TOTAL PRINTING

株式会社 **須田製版**
www.suda.co.jp

札幌本社
〒063-8603
札幌市西区二十四軒
2条6丁目1-8
TEL.011-621-1000
FAX.011-621-1500



旭川支社・釧路支店・苫小牧支店・東京支店・
滝川営業所・北見営業所



北海道内のすべてがそろう
“電子書籍”ポータルサイト「ホッカイドウ イーブックス」
Hokkaido ebooks
www.hokkaido-ebooks.jp

佐々木 憲介

私の経済思想史研究

コロナ禍という難しい状況のなかで、このような機会を用意してくださったスタッフの皆さまに感謝いたします。

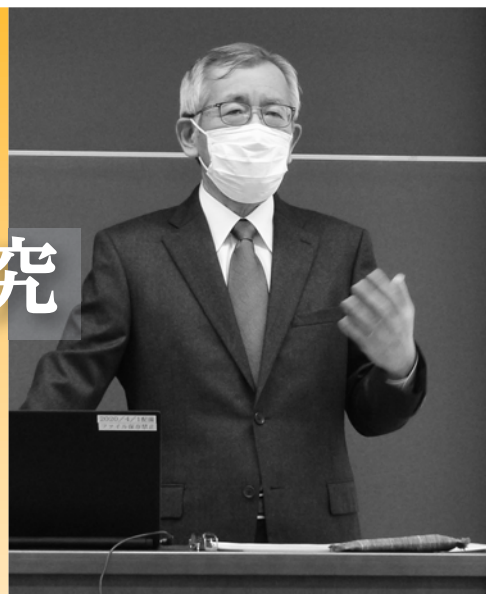
今日は、拙いものではありますが、私の研究史を振り返りながら、お話をさせていただくことにいたします。

私は岩手県一関市の出身で、小学校の途中で盛岡に引っ越しました。高校卒業まで盛岡に住み、その後、大学に入るために仙台に移りました。私が通っていた高校は、道路一本挟んで岩手大学と隣り合っていましたから、ときどき大学生協の本屋で大学生が読む本を立ち読みさせてもらいました。そうしたなかで興味を持ったのが、下部構造が上部構造を規定するというマルクスの唯物史観でした。つまり、経済的構造が、法的・政治的構造や社会的意識諸形態を規定するという考え方です。未熟なりにいろいろ考えた結果、経済が社会の基本だということなので、経済学部に入学したわけです。学部時代のゼミでは、『資本論』を読みました。

大学院では、できるだけ根本的なことを勉強したいと思ひ、研究テーマとして経済学方法論・経済学の哲学を選ぶことにしました。アダム・スミスを始めとして、経済学が独立した学問分野として成立する19世紀中頃までのイギリス経済学を研究しました。また、大学院のゼミでは、科学哲学の影響を受けた経済学方法論の本を読みました。

大学院生時代に考えたことは、その後の研究の導きの糸になりました。例えば、(1) 科学哲学を前面に出すのではなく、あくまでも経済学に即して方法論を論じるように心がけよう。科学哲学や論理学などの武器は、使えるところで限定的に使おう、ということです。また、(2) 規範的な方法論ではなく、記述的方法論のほうが生産的だと思いました。つまり、あるべき方法について語るのではなく、指導的経済学者が実際に従っている方法を分析する、ということです。

北大に赴任してからしばらくして、それまでの研究をまとめて、2001年に著書を出版することができました。『経済学方法論の形成—理論と現実との相剋 1776-1875』です。経済学方法論の形成という動きの中心にいたのは、J.S.ミルでした。ミルは、経済学方法論と実質的経済学の両方を論じた経済学史上の大物です。しかし、ミルの方法論と実質的経済学との間にはズレがあると思いました。自分で自分を分析することには限界があります。「われわれはすべて、自分自身についての拙い解釈家である」と言われるゆえんです。ミルは自分の経済学が実際に採用している方法がどういうものなのか、十分には分からなかったかもしれない、しかし後世の目から見ると分かるかもしれない。そこに、後世の思想史研究者の有利な点があると思いました。ミルに比べれば、いかに浅学菲



才であるとしても、時間的に後だということだけは、われわれにとって有利だということです。

1冊目の著書は古典派の時代を対象としたものでしたが、その後は、古典派時代に続く時期の方法論史の研究に向かいました。取り上げたのは、イギリス版の方法論争です。

経済学史上、最も有名な方法論争はドイツ語圏の論争です。しかし、実を言うと、イギリスではドイツ語圏に先駆けて論争が始まっていました。それにもかかわらずイギリス版方法論争の知名度が今一つなのはなぜか。その理由の一つは、イギリス版方法論争では、まとまった著作がなく、あちこちに分散している断片的な主張を集めなければ論争の全体像が掴めないという難点があったからではないかと思います。幸いなことに、今はさまざまなデータベースがあり、また著作権の切れた文献がインターネット上で公開されていることもあって、だいぶ助けられました。

この研究をまとめて、2013年に『イギリス歴史学派と経済学方法論争』を出版しました。ここでは一つだけ、「学説の相対性」という論点についてだけ、お話することにします。学説の絶対性・相対性という問題は、ある経済学説がいつでもどこでも通用するのか、それとも時代や地域が違えば通用しないのか、という問題です。しかし私は、学説の相対性には、もっと他の側面もあるのではないかと考えています。国や地域、時代の違いによって複数のアプローチがあるというだけでなく、同じ時代、同じ国・地域の経済を分析するときにも、複数のアプローチがあるということです。いわば拡大版の学説の相対性です。

これまで、研究を行う過程で多くの方々から教えられました。共同作業で、いくつかの出版物もしました。いちいちお名前を挙げることはできませんが、そうした方々には非常に感謝しております。

さて、これからどうするか。願わくはもう一仕事、という気持ちがあります。このように宣言することで、怠け癖にブレーキをかけておきたいと思います。

それでは、大雑把なお話でしたが、これをもちまして、私の最終講義を終わらせていただきます。本日はありがとうございました。

教員が語る

深山誠也先生
(平成22年卒)

—— 懐うこと、思うこと

2021年4月に北海道大学大学院経済学研究院にて経営管理理論担当の准教授として着任しました深山誠也です。私は、2006年に北海道大学経済学部に入學し、経済学部と大学院経済学研究科で9年間の学生生活を過ごしました。その後、研究科の任期付き助教に採用され、1年半にわたり北大で引き続き研究・教育をする機会をいただきました。そして高知大学人文社会科学部に専任講師として、4年半勤めた後、2021年4月に北海道大学に戻ってきました。北大には、これまで約10年半にわたりお世話になっています。ここでは学部時代の恩師である小島廣光先生を振り返りつつ、着任にあたっての抱負を述べたいと思います。

私と小島先生との出会いは、学部1年生の時でした。当時は、総合入試は行われておらず、大學入學時点で所属学部が決まっていた。経済学部の1年生は、入學してすぐに50人ほどの4つの基礎クラスに自動的に分けられ、クラスごとに「経済学・経営学入門」という授業を受けました。この授業は、当時の経済学部1年生の必修授業で、経済学・経営学の基礎知識と基本的な考え方を学ぶという授業でした。各基礎クラスにはクラス担任の教員がつきます。そのクラス担任が、小島先生でした。今にして思うと、とても運命的なものを感じます。

小島先生の「経済学・経営学入門」はとても印象深いものでした。1つは、この授業が、私にとって大學で経営学に触れる初めての授業であったからです。もう1つは、2回目の授業だったかと思いますが、授業の開始時刻になり、講義室になぜかジャージを着て帽子を被った小島先生が現れたからです。小島先生は、「北大生なんだから大學の中ぐらい知らんといかんぞ」というようなことをおっしゃって、大學内の散策と案内をはじめました。札幌農學校第2農場や大學内の原生林など、道なき道を通る小島先生の背中を追いかけてました。そして、散策の最後にたどり着いたのが、満開の桜の木



でした。その桜の木の下で、小島先生がクラスの集合写真を撮りました。ただ、集合写真をとるまでに多くの学生が散策の途中でこっそり帰ってしまい、ほとんど残っていませんでした。写真を撮るときに、小島先生が「ほとんどおらんくなったな」と名古屋弁まじりに、ぼそっとおっしゃられたことは忘れられません。

今にして思えば、学部1年生のときに小島先生と出会い、大學の散策で小島先生の背中を追いかけたときから、私の研究生活は始まったのだと思います。その後、非営利組織研究の第一人者である小島先生にご指導いただいて、大学院の門をくぐりました。現在、私は、高齢者介護サービスを提供する非営利組織の経営について研究を進めています。

ちなみに、小島先生ですが、現在、愛知県の星城大学にて私より元気に研究が続けられています。先日、私が北大に着任するという報告に伺った際にも、小島先生が今度新しく出版される本の準備をしているとの話を伺うとともに、私の研究に対しても発破をかけていただきました。そのような中で、この原稿を書いています。

私のように、大學時代の出会いなどでその後の人生が変わったという方も、同窓生の皆様にはいらっしゃるのではないかと思います。今の私を作り上げたのは、大學時代の教員との関係がきっかけであったなと感じるところです。教員と学生との関係は、大學での出会いの一部にすぎないかもしれませんが、気を引き締めてこの職を勤めあげたいと考えています。

北海道大学経済学部同窓会

では同窓生のみなさまからの同窓会報に掲載する企業広告を募集しております

お気軽にあなたの会社の広告を掲載してみませんか？

みなさまよろしく願いいたします！

— 同窓生の近況 —

酒井一夫ゼミの思い出

A black and white portrait of Professor Tetsuo Kato, an elderly man with glasses, wearing a light-colored collared shirt.

現在、ゼミ先輩、同期、後輩が札幌にて継続して読書会を開催、頭の下がる思いである。

経済学に どっぷりつかった13年

金 盛 直 茂 (平成15年卒)



2020年4月より北海道医療大学で大学教員として経済学を教えています。北海道医療大学は医療人養成大学ですので、経済学部はありません。授業は、経済学用語や数式に頼らず、日常的な用語でかみ砕いて教えるよう心掛けています。そして、

谷口ゼミの思い出

念願の留学，貴重な体験

私は日本語の通訳と会計士を専門として、モンゴルの大学を卒業し、日系企業で会計士として働いていました。日本語を勉強したのは、いつか日本に留学したいとずっと考えていたからです。幸いなことに2017年のある日、民間企業から二人を日本の北海道大学に留学させる日本政府の奨学金プログラムについての記事を目にしました。喜んで応募し、無事合格し、札幌



で留学をスタートさせたことはモンゴルからきた私にはとても好都合のことでした。気候や食べ物などに何も困りませんでしたし、日本政府の奨学金で留学していたので、JDSプログラムの皆様が、すべての面でサポートしてくれました。お陰様で、授業だけに集中することが出来ました。最初の年はほとんど図書館で勉強して過ごしました（笑）。当初は日本とモンゴルの教育制度にかなり差があることを気づき、慣れるのに結構時間がかかりました。例えば、疑問点を見つけ、議論することや質問する能力等が足りませんでした。

留学中は研修旅行でPanasonicミュージアム、トヨタ工場、トヨタ博物館、カップヌードルミュージアム横浜、日産追浜工場等たくさんのところを見学しました。「百聞は一見に如かず」のことわざのように、日本のものづくりについて勉強する機会を与えてくれた平本健太先生に感謝しています。

この2年間は私だけではなく家族にとっても一生忘れられない貴重な思い出となりました。息子は日本の保育園、娘が日本の小学校に通っていました。日本語も上手になり、日本人の友達もたくさんできました。

留学中にお世話になった平本先生をはじめとする大学の皆様、JDSプログラムの皆様に心より感謝しています。これからは日本で勉強したことを生かし、日本とモンゴルの架け橋となり、自分のできる限りの貢献をしていきたいと考えています。

北大経済学部同窓会事務局 を卒業しました！

岩 本 栄 一 （昭和49年卒）



前任の伊藤幸彦さんから平成23年に事務局責任者のバトンを受け取って以来ちょうど10年、このたび無事「卒業」することができました。思えば義父母の介護で北海道に戻った時にこの同窓会に捕縛されたのですが、それまで経験したことのない諸業務を多くの会員諸氏の善意に支えられ何とか区切りを迎えることが出来ました。

卒業にあたり少し所感を書いてみます。

一つは従来型の同窓会の行事や会員サービスが転機を迎えていることです。同窓会総会や懇親会、講演会などイベントの参加者が増えないのは概ね他学部や他校も同様の現象のようです。この背景には、やはり時代を反映して同窓会に対しても個人の価値観が急速に多様化していることがあると思います。

人間同士や集団との関係が濃い時代とは明らかに変化しつつある今、同窓会行事はその在り方を急ぎ改善していく必要があるようです。

また、パソコン、スマートフォンによる情報伝達が低コスト・高スピード化を促していく中で、予算中最大出費を伴うこの「同窓会報」の作製、郵送の方法も議論を始める局面にきています。「やはり紙ベースで手に取って読むのが捨て難い」との声も多く、これについては広く会員の皆様の声をお寄せいただき方向を出していきたいと思います。

次に、既に緒についた新しい試みについてです。

近年学部・大学院とのCO-WORKと学生への勉学支援が本格的に始まり、同窓会活動の柱に育つ目処がつかしました。優秀論文の助成対象者の拡大に加え、一昨年には外部機関と組んで就職支援の各種イベントを実施し、今年はコロナ禍で苦しむ在學生に支援物資を届ける企画を実行しました。これらは学生や関係者から好評価をいただいております、同窓会の存在感アップにつながっています。

また、北大経済学部は「ゼミ」における恩師や仲間・先輩との結びつきが強く、卒業後もその関係が続いています。

同窓会はこのゼミに寄り添い関係を密にすることで、卒業後においてもそのまとめ役としての「プラットフォーム機能」を発揮していきます。

昭和25年卒業生から今年の新入生までの年齢差70年超の約13,000名の会員の中には企業や官庁また学問の世界で大きな功績を上げ今も影響力を持つ多くの人材に溢れています。今後の課題ですが、同窓会がこれらの人々が持つコンテンツや経験を在校生と直接結びつける役目を果たできれば面白い展開になると思います。会員諸氏の知恵を集め形にしましょう。

私の後任としてこの4月から塚田久美子さんが就いています。塚田さんは歴代の経済学部長をサポートされ学部内の人間関係は太く、これまで同窓会にも多大な協力をいただいた方です。皆で盛り立てていきましょう。

お金のことも一言、同窓会は皆様からの篤志を一円も無駄にせず、どこに出しても恥ずかしくない透明な会計と健全な運営が続けています。しかし財務基盤は依然弱いままです。引き続きご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、長い間寄稿や広告そしてイベント手伝いなど私の無理強いにも快く応じていただいた方々にこの場を借りて心より感謝を申し上げます。



— 在校生からのたより —

9年越しの大学院進学と 最高の研究環境との出会い

長 桶 和 也 (経済学院修士2年)



私は、2012年に立教大学経営学部国際経営学科を卒業し、約8年間ITやメーカーで営業に従事していました。営業では新規開拓を中心に活動し、「お客様のビジネス上の悩みは何で、それをどのように自社製品やサービスで解決するか」を考えており、大学での学びで得た知識や思考プロセスが役立ちました。

実は私は2010年に北大大学院に合格し、進学する準備をしていました。卒業まで2ヶ月のタイミングで母にガンが見つかり、余命4年で高額な先進医療を受ければ5年以上は生存すると言われ、悩んだ挙句進学を辞退しました。その際には私の進学を支援して頂いた岩田先生に相談もなく辞退する不義理を行ないました。大学を留年して就職し、仕事と介護、治療を両立させる充実ながらも多忙な日々を過ごしました。その後、7年間の闘病生活の後に母は天に召されました。

母の死後、親孝行することだけを考えてがむしやらに働いていたことに気がつき、今後どのように人生を歩むか真剣に悩みました。その際、かつて諦めた大学院進学と研究者になるという目標を意識するようになり、岩田先生に進学について背中を押して頂き、今こうして大学院で研究に没頭できています。

入学後、コロナ禍で大学への立ち入りもできない状況、全ての授業がオンラインになり教員も学生もオンラインに慣れていない状況という前代未聞の事態を味わいました。また、日常生活がwith コロナということで変化し、ストレスを抱えました。一番のストレスは先生や先輩・同級生と会話ができず、ただ授業を受けて終わりという状況でした。研究室が使える短い時間の中で、少しずつ先輩や同級生と話すことができるようになり、彼らが努力する姿や彼らとの会話によって、自分の研究や生活に多くの刺激を受けることができました。また、今では多くの先生

とお話する機会もでき、非常に充実していると感じています。

私は人よりも遠回りしましたが、やっと理想の生活を送れており、これほど幸せだと感じる日々はありません。他大学出身の私から見た北大は、こんなに「研究や学問に没頭しやすい環境」があるのか!と思います。その環境を整えてくださる、一流の研究者である先生・学生想いの職員・優秀な学生の皆様に感謝をしております。この感謝の気持ちを常に持ち、「研究成果を通じて社会を良くすること」で恩返ししたいと思います。その為に、研究としっかり向き合い、努力していきたいと思っています。

愛知からオンラインで

今 井 佑 香 (経済学部4年)



新型コロナウイルスの感染が広がり始めてから1年半近くが経ちますが、経済学部は未だ以前のように大人数の学生が教室に集まる授業は行えていない状況です。実際、私は昨年からはほぼ全ての授業を実家の愛知から受けており、時折、自分が北大生であるということが不思議に思えてきます。オンライン授業が導入された当初は、「自宅から一人で受講する」とい

う初めての環境に不安やストレスもありましたが、オンライン授業が始まってから1年が経った今では、非対面方式にもだいぶ慣れ、学校への行き帰りが不要な点やどこにいても受講できる点など、オンライン授業ならではのメリットも感じられるようになってきました。しかし、なかなか友人に会えず、周りが見えないという環境は心細く、授業の間の休憩時間に友人と喋ったり、図書館で一緒に勉強したり、学食で楽しくみんなとごはんを食べたり、といった以前は当たり前だった時間がとても懐かしく思います。

旅行や外食など、我慢しなければならないことが多い状況ですが、安心して過ごせる日は必ず来ると信じて、今できることに精一杯取り組んでいきたいと思っています。



ぜひ、ご参加ください

昨年はホームカミングデー（HCD）がコロナ禍で中止になりましたが、今年度は令和3年9月25日（土曜日）にオンライン配信が中心ではございますが、開催されます。

2021北大ホームカミングデー 文系4部局合同企画

シンポジウム コロナ禍を 考える

（文学部・教育学部合同企画）

日時

**2021年9月25日（土）
午後2～4時半**

ON-LINE開催

参加方法は北大のHPで
お知らせしていくとのことです。
みなさま、是非ご参加ください。

同日に**経済学部同窓会総会**を開催いたします。

日時：9月25日（土）午後4時半から約1時間

出席希望の方は9月17日（金）までに事務局まで「氏名、卒業年、住所、メールアドレス」をメールまたはFAXにてご連絡ください。人数を把握した上で、経済学部の会議室で開催予定です。（人数が多い場合はオンライン開催になる可能性がございます）

事務局 メールアドレス dosokai@econ.hokudai.ac.jp TEL&FAX 011-706-4113

北海道大学 文学部・教育学部 合同企画

報告

1. 「コロナ休校は誰にどんな影響を与えたのか？～コロナ以後の課題を見据えて～」

北海道大学大学院教育学研究院
加藤弘通 准教授

2. 「コロナ対応に追われた地方教育行政の混乱と困難に学ぶ」

北海道大学大学院教育学研究院
篠原岳司 准教授

3. 「外来種問題として見たCOVID-19ーグローバル化社会における危機管理 課題ー」

北海道大学大学院文学研究院
池田 透 教授

4. 「コロナ禍のなか、北海道で『ベスト』を読む」

北海道大学大学院文学研究院
竹内修一 教授

進行：

北海道大学教育学研究院長 宮崎隆志 教授（1～2）

北海道大学文学研究院長 藤田 健 教授（3～4）



名刺広告

パリアフリー本の子ども図書館
公益財団法人 ふきのとう文庫

代表理事

高倉 嗣昌

(経 昭和36年卒)

札幌市中央区北6条西12丁目8-3
TEL 011(222)48339

中川原税務会計事務所

税理士

中川原 慶憲

(経 昭和41年卒)

札幌市中央区南一条西一二丁目三二番地
新栄ビル七階
TEL 011(271)8462

札幌監査法人

代表社員 公認会計士

高野 一夫

(経 昭和45年卒)

札幌市中央区南一条西一二丁目新永ビル
TEL 011(261)7512

山崎公認会計士事務所

公認会計士 税理士

山崎 駿

(法 昭和45年卒)

札幌市中央区南2条西5丁目
サンワイドビル8階
電話 011(211)1786

弁護士

吉川 正也

(経 昭和46年卒)

札幌市中央区大通西十丁目南大通ビル4階
TEL 011(261)6677

上野公認会計士事務所

公認会計士

上野 昌美

(経 昭和47年卒)

札幌市中央区南23条西9-1-25
TEL 011(522)8170

遠藤公認会計士事務所

公認会計士

遠藤 昭一

(経 昭和48年卒)

札幌市東区北二条東十八丁目三番三号
TEL 011(783)8123

弁護士

工藤 倫

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区北五条西十二丁目一番地
ベルックス北五ビル B館二階
TEL 011(266)5275

田中利男税理士事務所

税理士 中小企業診断士

田中 利男

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区南3条西6丁目3-2
南3条グランドビル601
TEL 011(261)2061

株式会社ターフテック

代表取締役

宮本 裕司

(経 昭和50年卒)

北広島市大曲工業団地五丁目一番地二
TEL 011(377)4011

岩本敏美税理士事務所
(株)イワモトマネジメントサービス

税理士・代表取締役

岩本 敏美

(経 昭和53年卒)

〒007-0834
札幌市東区北34条東7丁目番20号 イワモビル2階
TEL 011(214)1176

不動産鑑定士 宅地建物取引士

目黒 健児

(経 昭和54年卒)

メグロオフィス株式会社 代表取締役
札幌市中央区南一条西六丁目十四番地
大友ビル四階南 交通沿い(南側)
TEL 011(218)3566

不動産の鑑定評価と仲介

野村不動産ホールディングス
株式会社

取締役会長

永松 昌一

(経 昭和57年卒)

監査法人ライトハウス

代表社員 公認会計士

北村 好孝

(経 平成4年卒)

札幌市中央区南一条西11丁目コンチネンタルビル
TEL 011(232)7102

監査法人ハイビスカス

代表社員 公認会計士

堀 俊介

(経 平成6年卒)

札幌市中央区北4条西5丁目1-4
大樹生命札幌共同ビル8階
TEL 011(826)5265

吉田大吾税理士事務所

税理士

吉田 大吾

(経 平成11年卒)

札幌市中央区南3条西12丁目320-8
札幌ビル3階
TEL 011(206)4236

税理士法人北前会計

統括代表社員・CEO(公認会計士・税理士)

中村 泰道

(経 平成12年卒)

札幌市北区北7条西220 NCO札幌駅北口2階
TEL 011(299)2624
Email: y-nakamura@kianae.or.jp

池田裕一公認会計士事務所

池田 裕一

(経 平成15年卒)

札幌市中央区南2条西5丁目10-2
サンワイド南2西5ビル4階
電話 011(231)5240

牧田税理士事務所

税理士

牧田 秀崇

(院経済 平成22年卒)

苫小牧市音羽町1丁目8番6号
TEL 0144(34)0385
URL: <http://www.tamakiata.com>

名刺広告を募集します
お申し込みは同窓会事務局まで

TEL & FAX (011)706-4113

Email dosokai@econ.hokudai.ac.jp



令和2年度 収支報告

自 令和2年8月1日 至 令和3年7月31日

	項 目	金 額(円)	備 考
収入の部	前期繰越金	9,465,297	
	会 費 収 入	2,242,000	年会費, 終身会費
	協賛金収入	622,000	
	広 告 収 入	54,000	会報36号
	総 会 収 入	0	
	その他収入	4,057	
	計	12,387,354	
支出の部	事 務 費	542,000	事務局実費
	総 会 費 用	0	
	会報作成費	631,263	会報36号
	助 成 金	35,000	優秀論文賞
	協賛金からの支払い	620,966	学生への物資支援
	通 信 費	92,512	発送代
	消 耗 品 費	25,967	プリント関連
	印 刷 費	53,030	封筒等
	旅 費	0	
	雑 費	7,590	コート等備品
	支払手数料	47,785	振込手数料負担分
	計	2,056,113	
	収 支 差 額	10,331,241	次期繰越金に充当

決算は高野一夫監事により正確かつ適正に処理されたことが承認されました。

協賛金(学生支援金)ありがとうございました

「協賛金」は在学中の学生に対する勉学や研究活動の支援・環境の整備改善・就職セミナー・学生の物資支援などにつかわれます。一般会費とは厳正に別管理とし、学部長と使途を協議して有効に活用しております。

今後とも母校後輩へのサポートをよろしくお願い致します。

ご賛同頂いた皆様は下記のとおり(敬称略、カッコ内は卒年 アルファベットは匿名希望者)

3万円 永井仁一郎 (S.38), 小笠原和典 (S.59)

2万2千円 小橋(柴田)茜 (H.24)

2万円 伊東孝 (S.34), 速水邦彦 (S.44), 上野昌美 (S.47), 田中利男 (S.50), 吉田松雄 (H.16修), 中島代博 (H.21修)

1万円 佐藤浩二 (S.29), 田村久治 (S.30), 高田迪允 (S.31), 稲田実 (S.32), 横山正之 (S.33), 富士雅生 (S.34), 加藤剛規 (S.35), 松本範男 (S.36), 古川善雄 (S.37), 村瀬光正 (S.37), 木村茂 (S.37), 水上隆史 (S.38), I.A. (S.38), 西本紀夫 (S.38), 若原弘道 (S.39), 佐藤時雄 (S.42), 南里聖三 (S.42), 牟禮研吾 (S.42), 笹光一 (S.44), 西村求 (S.44), 花井信 (S.46), 武田博 (S.46), 内藤(松本)和子 (S.46), 大石堅 (S.47), 濱向昭一 (S.47), 榎本英雄 (S.47), 塩谷哲実 (S.47), 鐵川照夫 (S.49), 岩本栄一 (S.49), 高橋藤生 (S.50), 宮下隆幸 (S.53), 目黒健兒 (S.54), 鞠谷仁士 (S.55), 鞠谷(平口)明美 (S.55), 藪谷隆 (S.55), 岩畔弘幸 (H.18), 安井佑太 (H.24), 中川偉士 (H.28), 橋本拓哉 (H.30), 小林航也 (H.30), 田中竜二 (H.31), 荻布貴子 (R.2)

卒業生の皆様へ 「北大みらい投資プログラム」へのご協力のお願い

皆様からのご寄附は、苦学生の修学、海外留学、特定の研究、部活・サークル活動など、皆様のご指定される使途に使用いたします。後輩学生へのサポートとして、卒業生の皆様からのあたたかいご支援をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

4つのプログラムメニュー

4つのメニューから、サポートしたい取り組みを指定してご寄附いただけます。



給付型奨学金

- 進学サポート奨学金
- 修学継続サポート奨学金



課外活動等支援資金

- 運動部・文化系サークル支援(個別指定可能)
- サークル会館、体育館、グラウンド整備への支援 等



海外留学・インターンシップ等資金

- 海外協定校等派遣・海外語学研修への支援
- 短期留学・研修・国際インターンシップへの支援 等



使途指定資金

- 特定の学部等への支援
- 特定の研究分野への支援 等

寄附方法



PCから



スマホから



北大フロンティア基金HPIにアクセスして下さい。
https://www.hokudai.ac.jp/fund/mirai.html

北大みらい投資

検索

web フォームに必要な事項をご入力いただき、ご寄附またはお問い合わせが可能です。

「クレジットカード決済」

「郵便振替・銀行振込」

「銀行口座振替」

「コンビニ決済」がご選びいただけます。

お問い合わせ先

北大フロンティア基金事務室

〒060-0809

札幌市北区北9条西6丁目

北海道大学百年記念会館内

TEL 011-706-2017

FAX 011-706-2010

E-mail kikin@jimu.hokudai.ac.jp

URL https://www.hokudai.ac.jp/

継続寄附のご案内

クレジットカード決済、または口座振替により、継続寄附(毎月・年2回・年1回のいずれかの自動引き落とし)をご利用いただけます。お申込み後の内容変更や解約もインターネットで随時行えます。

会費のお願い

年会費 3,000円
終身会費 30,000円

振込方法は郵便局、コンビニにて同封の
「払込取扱票」にてお願いいたします。

なお、協賛金は郵便局のみとなりますので
ご注意ください。

同窓会活動は会員からの会費収入によって成り立っております。現役の学生を同窓会に迎えたことで財政的には一時的には余裕のある状況となりましたが、トータルでみるとまだまだ厳しいと言わざるを得ません。どうかご理解をいただき年会費（3,000円）の継続入金と終身会費の納入をお願い申し上げます。

協賛金は一口1万円とし、その使途は原則全額を現役学生への支援に充てます。従来から行っている卒業を祝う会や優秀論文への寄付増額にとどまらず、ゼミ研究・就職活動の支援に使用します。

他学部では同窓会による「寄附金講座」など新設する動きもありますが、身の丈に合った経済学部らしい有効策を、スピード感を持って具現したいと考えております。

なお、協賛金を納めていただいた方のご芳名を同窓会報に記させていただきます。

また、昨年会報で既報の通り、終身会費納入者以外で直近5年間一度も年会費（3千円）を納めていただけない会員に対しては、会報の送付は行いません。

どうかご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

編集後記

●コロナのワクチン接種もかなり進んできました。高齢者の重症者は確かに減ってきましたが、この最後の編集後記を書いているときの東京の感染者は5,000人を超え、札幌も300人を超え、まだ増え続けるだろうとの専門家の予想です。会員のみなさまも何卒感染予防に留意されこの波を乗り切りましょう！札幌では、昨日の夕方から中心部の上空にヘリコプターの音が大きく響いていました。オリンピック「競歩」が始まりました。「マラソン」は北大構内の緑の中を走り抜けます。世界中に北大の景色が放送されます。なかなか北海道に来られないみなさまには懐かしく見られるのではないのでしょうか。

●4月から事務局を担当しています。のんびりゆっくりできるのかな、と思っておりましたら怒濤のような日々でした。この前期に仕事が集中しているせいもあるかと思います。この同窓会報の編集も青息吐息です。同窓会のみなさまからは同窓生の声が少ないな、とお叱りを受けそうですが、原稿集めに慣れていないということで何卒ご容赦ください。次号にはぜひみなさまからたくさんの近況をお寄せいただければと願っております。

●「経済学部同窓会HP」がリニューアルいたしました。みなさま是非ご覧ください！<http://hokukeialm.starfree.jp/hoku-alm/>

●現在の同窓会員の内、卒業生12,214名、学部同窓生790名、院生同窓生144名という構成になっております。

2021/8/6 記



(株)ブライダルは北海道大学経済学部同窓会の
皆様の「結婚」を応援します。

43年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に北大校友の皆様には平成18年より「北海道大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「北大経済学部同窓会報」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様は登録料100%OFFにてご入会頂けます。

北海道大コース 登録料 33,000円(税込)
100%OFF



1978年創業
株式会社 ブライダル

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F

お問い合わせ (月曜定休) ☎ 0120-415-412

ホームページ <http://www.bridalvip.co.jp>

